

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
音楽基礎A 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務 経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。 様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような 歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。											
授業概要											
現代の多様化した音楽には様々なジャンルの音楽が混在しているが、その中には過去からの確立した理論がベースに存在している。その知識を深め、多様なアプローチから作曲・編曲が出来るための基礎を学ぶ。											
到達目標											
学校指定のグレードをマスターすること。理論の中でも特にコードについて理解することを目標とする。											
授業方法											
学校指定教科書から学ぶ、また必要と思われる部分は補足して講義する。 プロジェクター・ホワイトボードを使い、音を確認しながら説明する。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
筆記用具と五線譜ノートを持参する。 他の理論授業と連携して進めていくため、授業時間外での予習・復習をする。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ダイアトニックコード、機能 and 声、ダイアトニックコードスケールの復習・確認										
第2回	代理コードの内容と機能を理解する										
第3回	裏コードの内容と機能を理解する										
第4回	9 th chordの意味・機能的解釈を理解する										
第5回	11th chordの意味・機能的解釈を理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
音楽基礎A 4	
第6回	13th chordの意味・機能的解釈を理解する
第7回	テンションノートの変位音について理解する
第8回	ホールトーンスケールの音列、機能を理解する
第9回	オルタードスケールとリディアント7の音列、機能を理解する
第10回	コンビネーションディミニッシュスケールの音列、機能を理解する
第11回	テンションコードとスケールの関係について理解する
第12回	オルタード7thコードとオルタードスケールの関係性と解釈を理解する
第13回	アッパーストラクチャートライアドの構成音と仕組みについて理解する
第14回	アッパーストラクチャートライアドの種類と機能を理解する
第15回	後期授業内容の理解度を確認